



重信中学校
2年生 **和田 瑠月**さん (写真左)
下土井 佐帆さん (写真中)
藤原 柚奈さん (写真右)

給食センターでのジョブチャレでは、調理場に入る時に衛生面に気を遣っていることがよく分かり、おいしい給食を届けたいという強い気持ちが伝わりました。私たちの授業中に給食を作っていることに感謝したいです。センターの皆さんがお互い声を掛け合っている雰囲気もよかったです。



んにとつてもいい機会だったよ
うです」と重信中学校地域コー
ディネーターの渡部佳織さん
は話す。
今年地域コーディネ
ーターがもつ横のつながりを活
かし、85の市内事業所が中学
生を受け入れた。「以前から、
『5日間受け入れることが難し
い』と話す事業所がありまし
た。受け入れたい気持ちはあ
るけど受け入れられない事業
所もあることを知り、思い切っ
て初日を交流会、3日間を実
習期間、最終日は振り返りと
昨年からスケジュールを大幅

働くを考える



地元で出会う 人と仕事

に変えました。川内中学校は
最終日に振り返りと大学生に
アドバイスをもらいながら動
画制作をしました。学生なら
ではの視点で教えてもらえる
ので、中学生も楽しみながら
活動していました」と酒井さ
んは話す。
ジョブチャレ終了後のアン
ケートには「5日間の貴重な
体験を進路に活かしたい」、「お
客さんとコミュニケーションを
とることが難しかった」、「仕
事が大変だったけれど、人の
良さを見つめることができた」
など中学生なりに感じたこと



中学生の ジョブ チャレ

中学校2年生の職場体験を
県内では「ジョブチャレ(ジョ
ブチャレンジ)」と呼ぶ。
今年のジョブチャレは地域
と学校をつなぐ役割をもつ地
域コーディネーターなどと協
力して「地域を愛する子ども
たちを育てる」、「地域の素敵
な大人に出会う」をテーマに
昨年から一新。中学生の体験
先は抽選で決め、全て市内事
業所で行われた。川内中学校
地域コーディネーターの酒井
あいさんは「地元の声を取り
入れ、地元の皆さんと作るジョ
ブチャレを目指しました」と
話す。
さらに、大学等の協力でイ
ンターシッップなどの経験を
もとに、マナー講座や事業所
との交流会などを開催。「今年
は事前に協力事業所の皆さん
と話す交流会を実施しました。
始めは交流会の雰囲気戸
惑っていた中学生ですが、事
後のアンケートでは『もっと聞
きたかった』と書いた生徒も
いました。普段中学生と関わ
ることが少ない事業所の皆さ

が綴られていた。
「目標がなく、なりたいたい
のがないと話す中学生にとつ
てジョブチャレは自分を振り
返って進路を考えるいい機会
になったのではないかと思います」
と渡部さん。「将来、地元
を離れる人もいます。
何も知らずに離れていくのと、
地元を知って離れるのでは全
く違うので、知るきっかけの一
つになれば」と酒井さんは笑
顔を見せる。
これからも中学生が未来に
向かって羽ばたく背中を地元
から後押ししたい。



中島モータース
こういち
中島 幸一さん

体験した中学生の笑顔が輝いてい
ました。学校や家庭では学べないこ
とを経験できたよ機会だったかなと
思います。技術を教えるよりも、大人
同士のコミュニケーションの仕方、大人
の仕事の向き合い方を学んでもら
えればと思っています。来年はどんな
中学生が来るか、今から楽しみです。